

心模様 4605 : 日本の夏・嵐山・八月二十九日・土曜日



この日もお昼から、足腰訓練のための、ママチャリ散策。
偶然、小耳に挟んだ情報、激しい雨にも遭遇したが、偶然、居合わせた次第。
手持ち、恥ずかしい画像だが掲載。現場にいた証明・8月29日土曜日。
蜜を避けて配慮された、ほんの数分間の瞬きだった。



「二十四節気」では、8月23日頃、暑さがおさまるという意味で「**処暑**」
萩の花が咲き、田畑では、穀物が実りはじめ、日中は暑いものの、朝晩は涼しさに秋の気配。

9月8日頃、秋が深まり、草花に白い朝露がつきはじめる頃、という意味で「**白露**」
本格的な秋の到来を感じられる頃、しかし、台風が心配な時期。

この日から中秋、9月23日頃「**秋分**」春分同様、昼夜の長さがほぼ同じになる。
前後3日間を秋彼岸といい、先祖のお墓参りをする習慣があり、国民の祝日、と資料にある。

今年も、あと4ヶ月。いつもと違う、厳しい秋になりそう。
自分から、気が渦巻き、窮地を招かないように、強い気持ちで、乗り越えたい。